

**和歌山市**  
**次世代育成支援に関するニーズ調査**  
**【結果報告書 概要版】**

平成 21 年 3 月

和歌山市



# 目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査概要.....	1
3	報告書の見方.....	1
II	就学前児童・小学生児童調査.....	2
1	お子さんご家族の状況について.....	2
2	保護者の就労状況について.....	3
3	保育サービスの利用について（就学前児童対象）.....	4
4	学童保育（若竹学級等）について.....	7
5	仕事と子育てについて.....	8
6	子育て支援サービスの利用意向について.....	9
7	子育ての不安と悩みについて.....	10
8	施策全般について.....	13
III	中高校生対象調査.....	14
1	あなた自身について.....	14
2	携帯電話やパソコンの利用について.....	14
3	将来のことについて.....	15

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、「和歌山市次世代育成支援行動計画」（後期計画）の策定資料として、本市における保育ニーズや子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態などを把握することを目的に実施しました。

## 2 調査概要

- ・調査地域 : 和歌山市全域
- ・調査対象者 : 和歌山市内在住の「未就学児」がいる世帯・保護者（① 就学前児童調査）  
和歌山市内在住の「小学生」がいる世帯・保護者（② 小学生児童調査）  
和歌山市内在住の中学2年生及び高校2年生（③ 中高校生対象調査）
- ・抽出方法 : 住民基本台帳より無作為抽出
- ・調査期間 : 平成21年2月18日～3月3日
- ・調査方法 : ①②は郵送配布・郵送回収  
③は学校を通じた配布・回収

	配布数	回収数	回収率
就学前児童調査	2,000	872	43.6%
小学生児童調査	2,000	848	42.4%
中高校生対象調査	1,000	977	97.7%

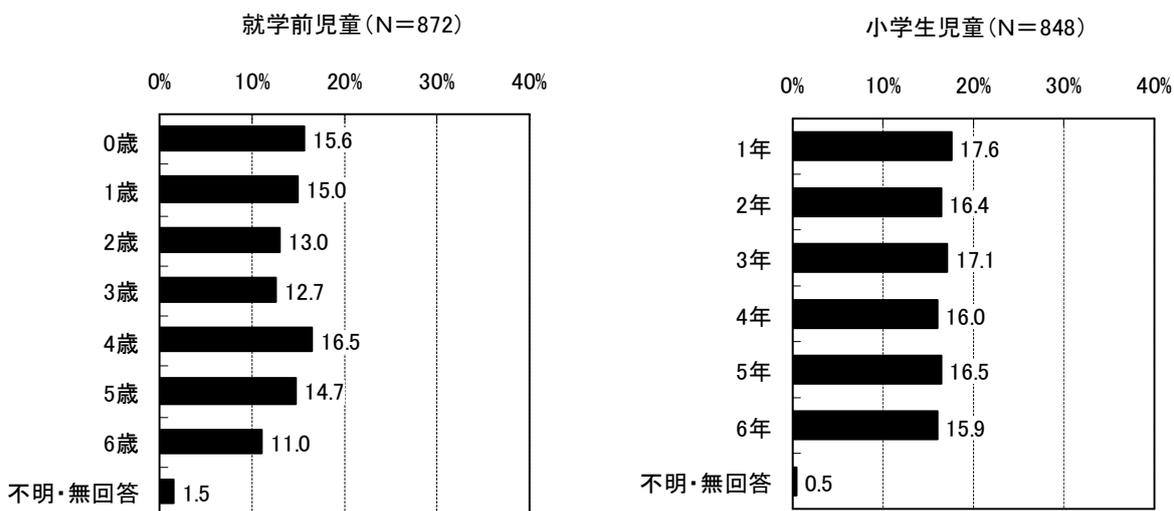
## 3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

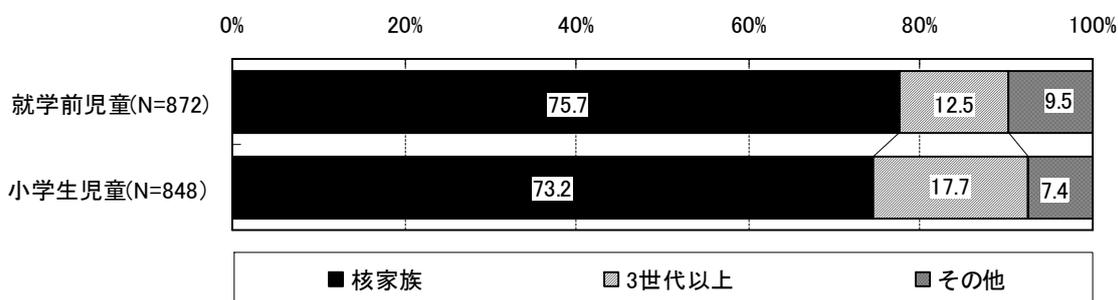
## Ⅱ 就学前児童・小学生児童調査

### 1 お子さんご家族の状況について

#### ■ 子どもの年齢、学年（数量回答）



#### ■ 家族形態

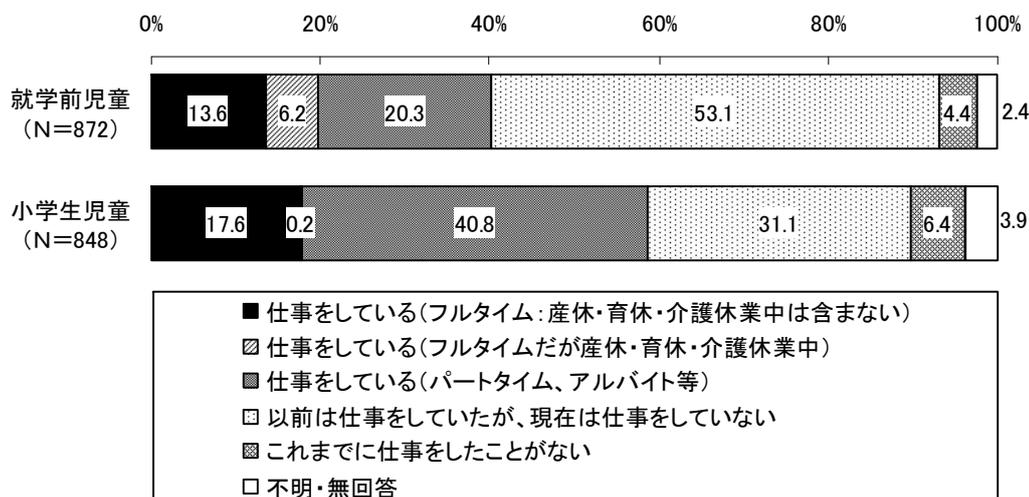


## 2 保護者の就労状況について

### ■ 保護者の就労状況（単数回答）

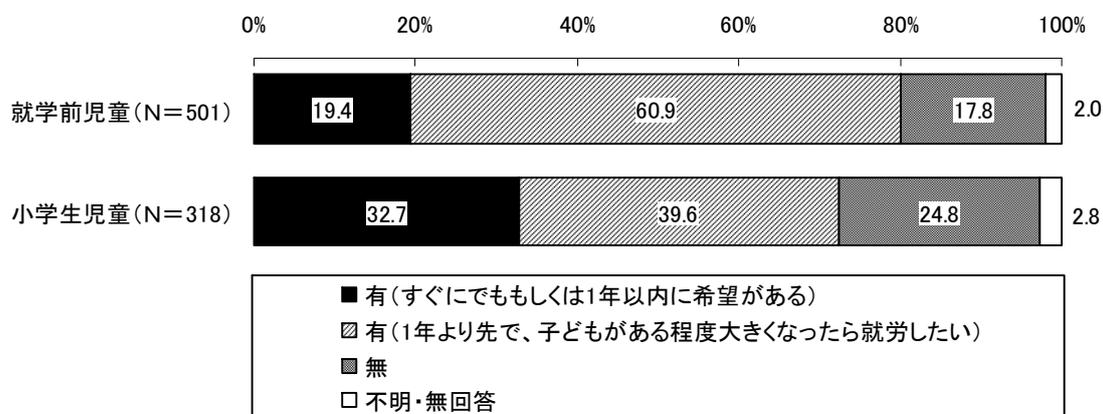
母親については、就学前児童では「以前は仕事をしていたが、現在は仕事をしていない」が53.1%と最も高いのに対して、小学生児童では「仕事をしている（パートタイム、アルバイト等）」が40.8%と最も高く、傾向の相違がうかがえます。

#### 【母親】



### ■ 現在就労していない母親の就労希望（単数回答）

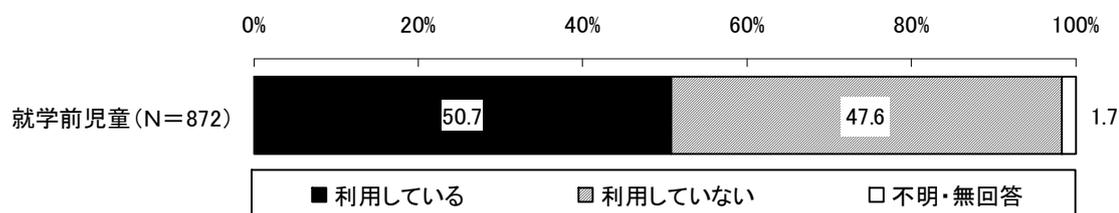
現在就労していない母親の就労希望をみると、就学前児童、小学生児童ともに就労希望のある母親が7割以上います。そのうち、すぐにでも就労を希望する母親の割合は就学前児童で19.4%、小学生児童で32.7%と、就学前児童より小学生児童で高くなっています。



### 3 保育サービスの利用について（就学前児童対象）

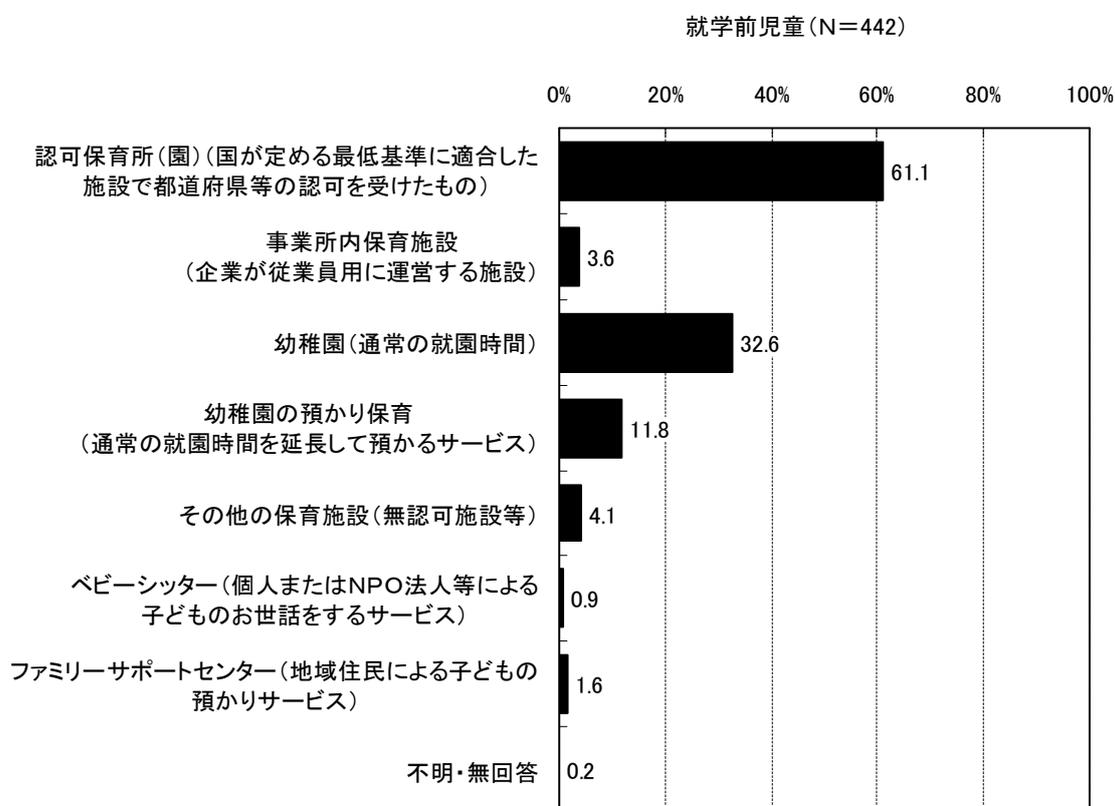
#### ■ 保育サービスの利用の有無（単数回答）

保育サービスの利用については、「利用している」が50.7%、「利用していない」が47.6%とほぼ同水準となっています。



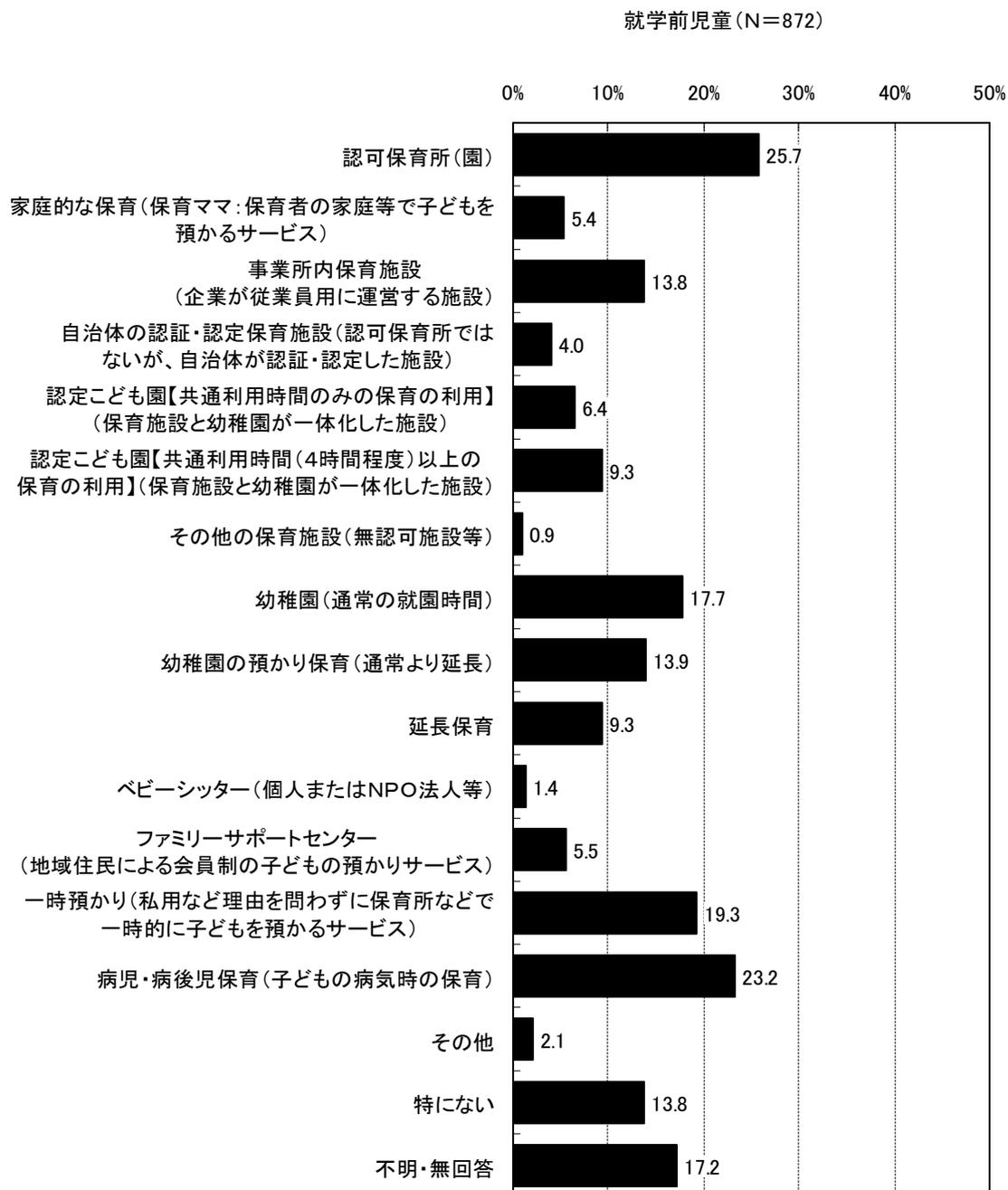
#### ■ 利用している保育サービスの種類（複数回答）

利用している保育サービスの種類については、「認可保育所（園）」が61.1%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間）」が32.6%となっています。



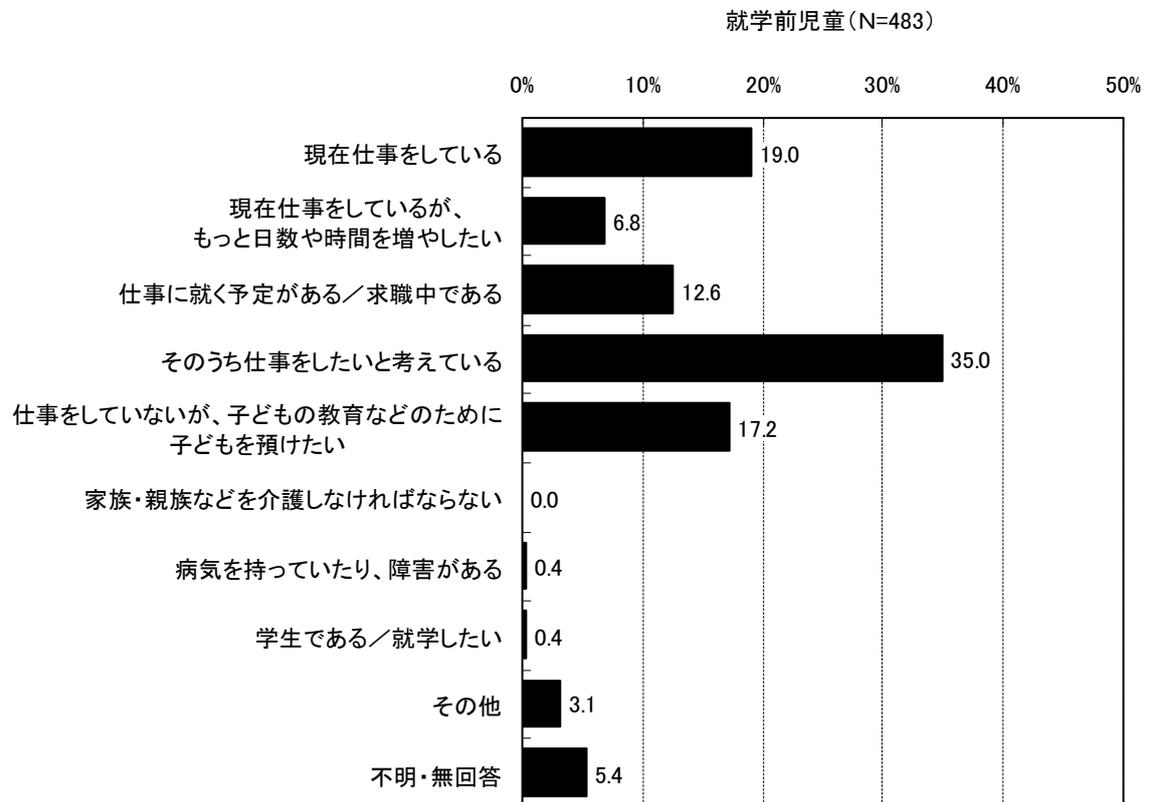
■ 今後利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間が) 足りていないと思う保育サービスについて (複数回答)

今後利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間が) 足りていないと思う保育サービスについては、「認可保育所(園)」が25.7%と最も高く、次いで「病児・病後児保育」が23.2%、「一時預かり」が19.3%、「幼稚園(通常の就園時間)」が17.7%となっています。



## ■ 利用希望がある人のサービスを利用したい理由（単数回答）

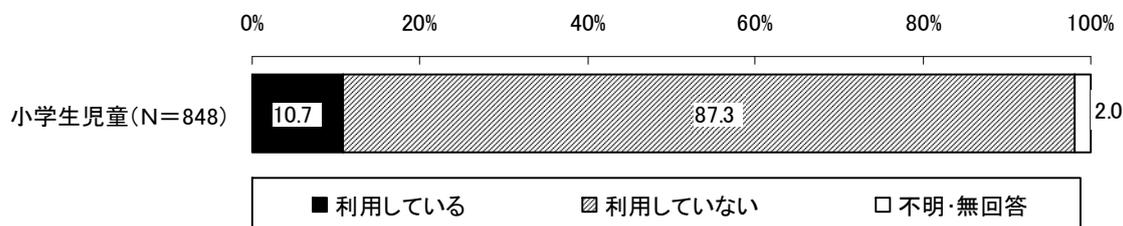
サービスを利用したい理由については、「そのうち仕事をしたいと考えている」が35.0%と最も高く、次いで「現在仕事をしている」が19.0%と、就労に関する理由が上位2件を占めています。



## 4 学童保育（若竹学級等）について

### ■ 学童保育（若竹学級等）の利用の有無（単数回答） \*小学生児童対象

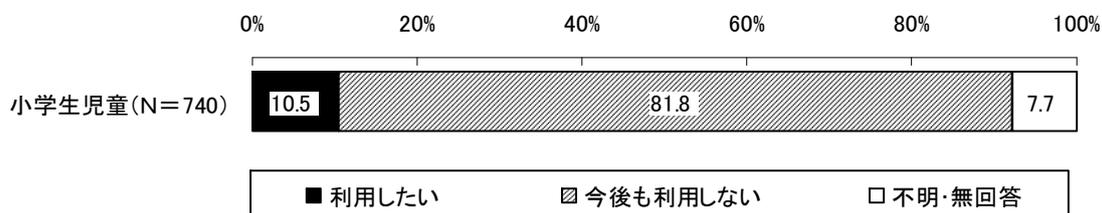
学童保育の利用については、「利用している」が10.7%となっています。



### ■ 現在利用していない人の学童保育（若竹学級等）の今後の利用希望（単数回答）

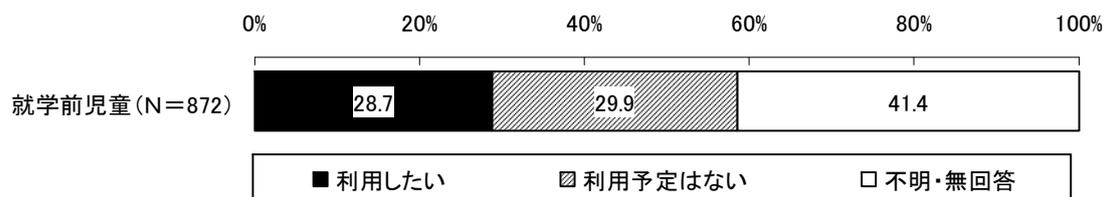
\*小学生児童対象

学童保育の今後の利用希望については、「利用したい」が10.5%となっています。



### ■ 小学校入学以降の学童保育（若竹学級等）の利用意向（単数回答） \*就学前児童対象

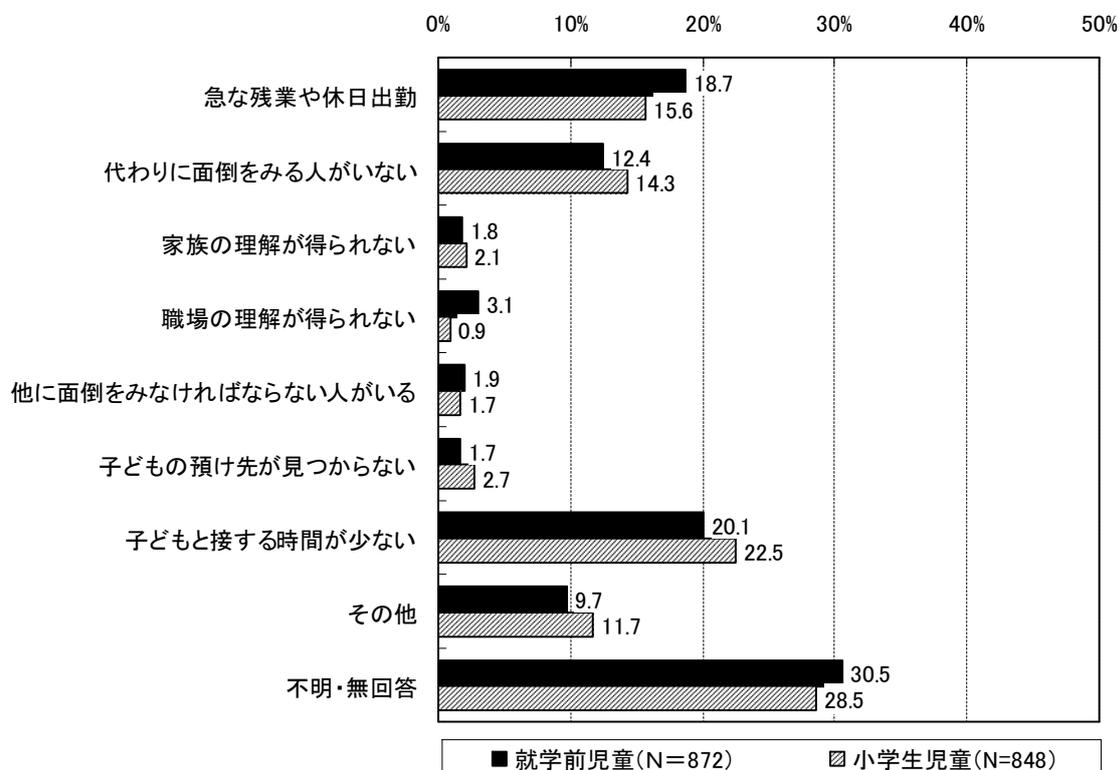
小学校入学以降の学童保育（若竹学級等）の利用意向については、「利用したい」が28.7%、「利用予定はない」が29.9%と、ほぼ同程度の割合となっています。



## 5 仕事と子育てについて

### ■ 仕事と子育ての両立で困っていることは何か（単数回答）

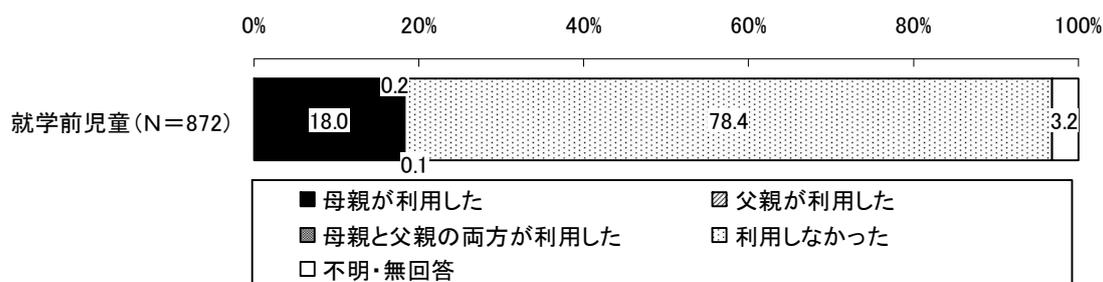
仕事と子育ての両立で困っていることについては、「急な残業や休日出勤」「代わりに面倒をみる人がいない」「子どもと接する時間が少ない」の割合が高くなっています。



### ■ 母親または父親が育児休業制度を利用したか（単数回答） 就学前児童対象

母親または父親が育児休業制度を利用したかについては、「利用しなかった」が78.4%と、7割以上となっています。

「母親が利用した」は18.0%であり、「父親が利用した」は0.2%にとどまっています。

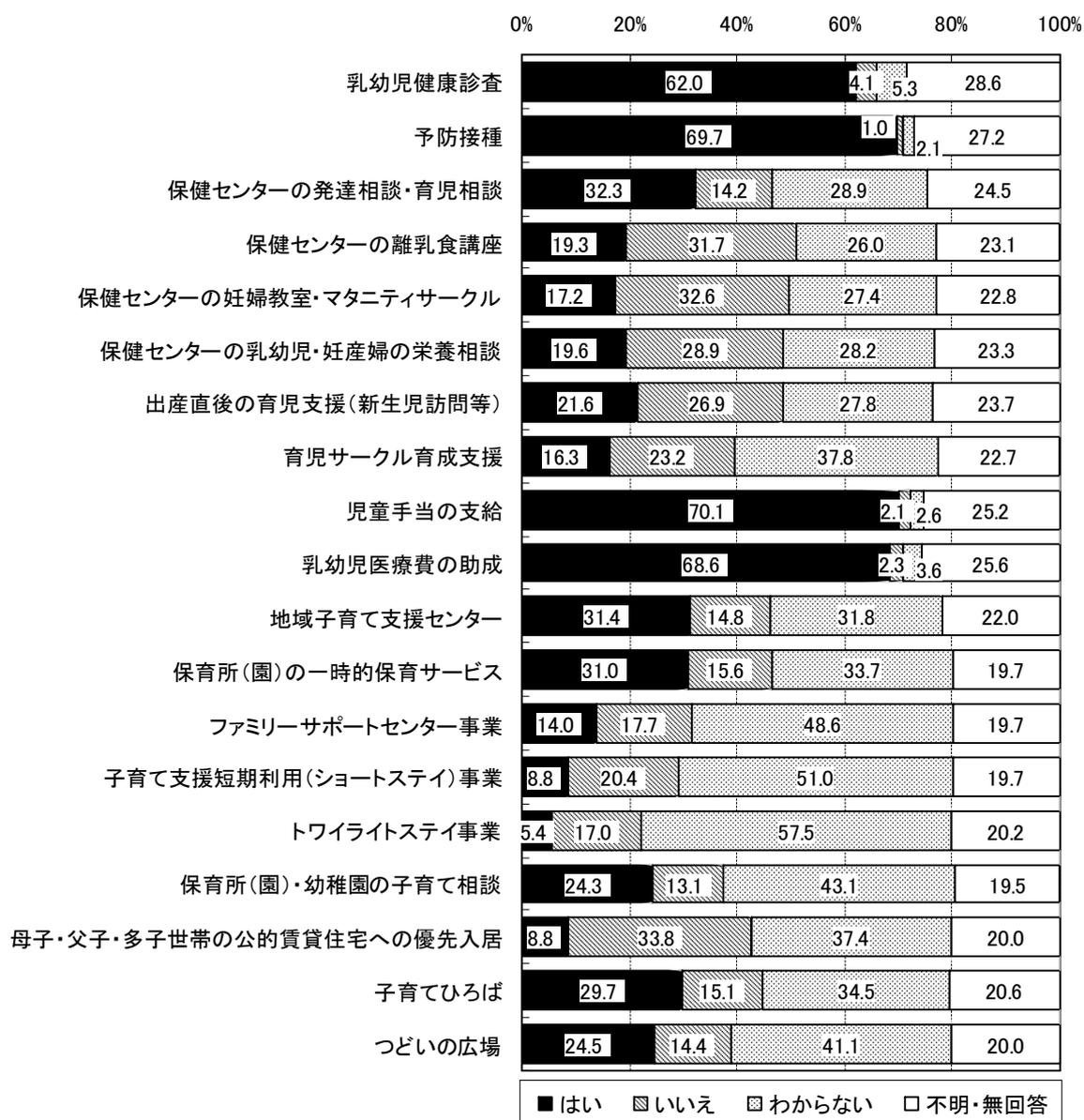


## 6 子育て支援サービスの利用意向について

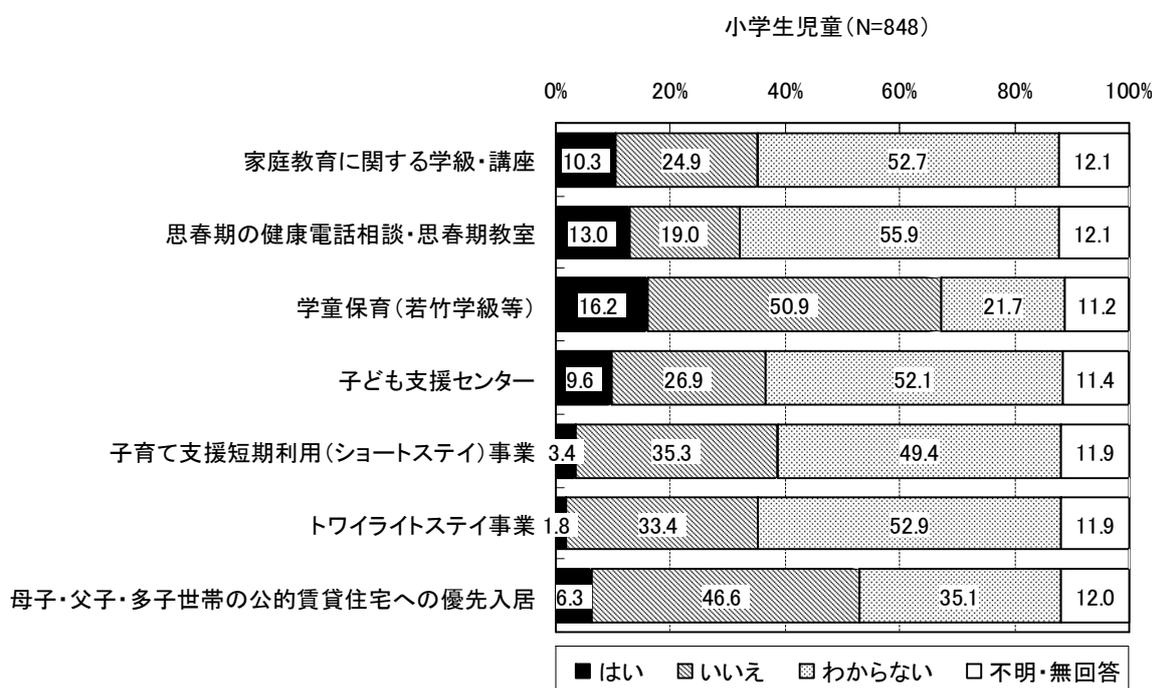
### ■ 子育て支援サービスの利用意向

就学前児童の各サービス等の今後の利用意向については、『乳幼児健康診査』『予防接種』『児童手当の支給』『乳幼児医療費の助成』で、「はい」が6割以上となっています。

就学前児童(N=872)



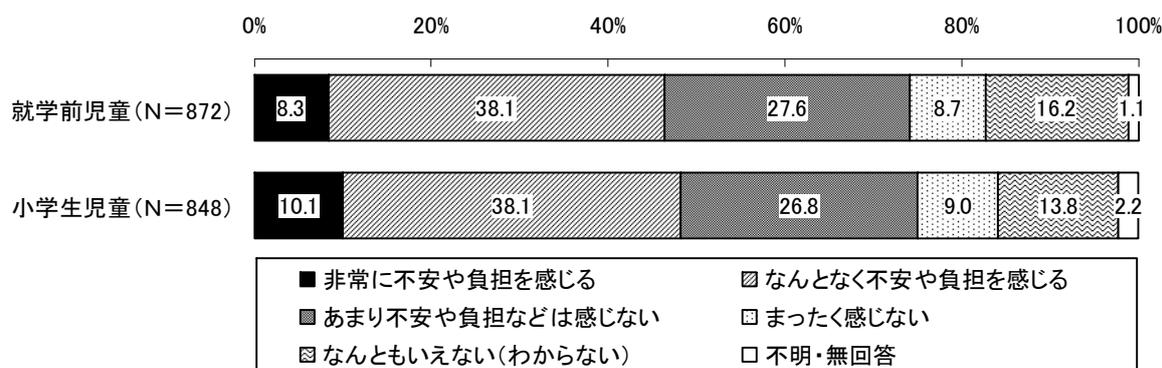
小学生児童の各サービス等の今後の利用意向については、全体的に「わからない」が高くなっている中、『家庭教育に関する学級・講座』『思春期の健康電話相談・思春期教室』『学童保育（若竹学級等）』では、「はい」が1割以上となっています。



## 7 子育ての不安と悩みについて

### ■ 子育てに関して不安感や負担感等を感じるか（単数回答）

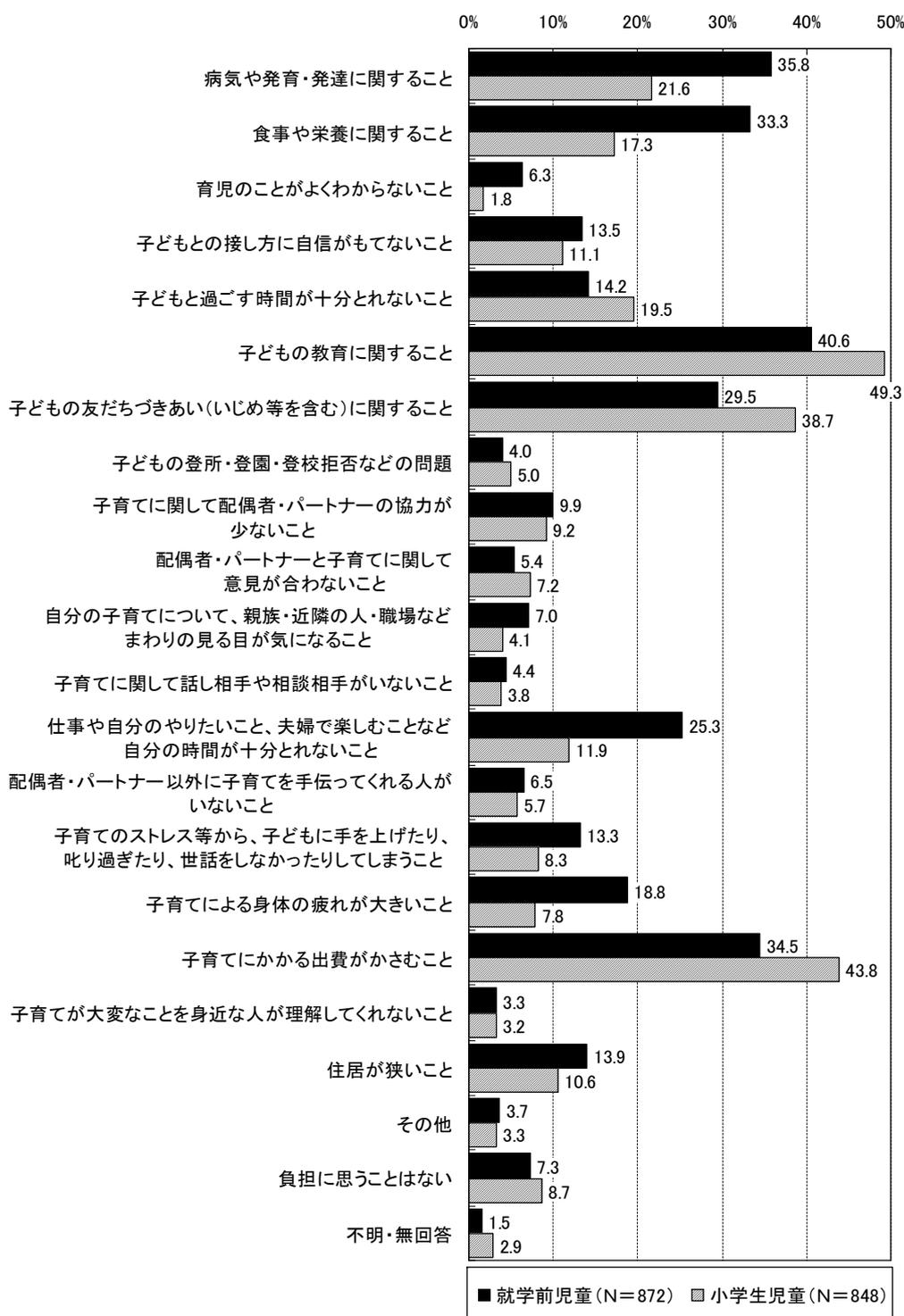
子育てに関して不安感や負担感等を感じるかについては、「非常に不安や負担を感じる」「なんとなく不安や負担を感じる」の合計が、就学前児童で46.4%、小学生児童で48.2%と4割以上の人が子育てに不安感や負担感を感じています。



## ■ 子育てに関する悩みや気になること（複数回答）

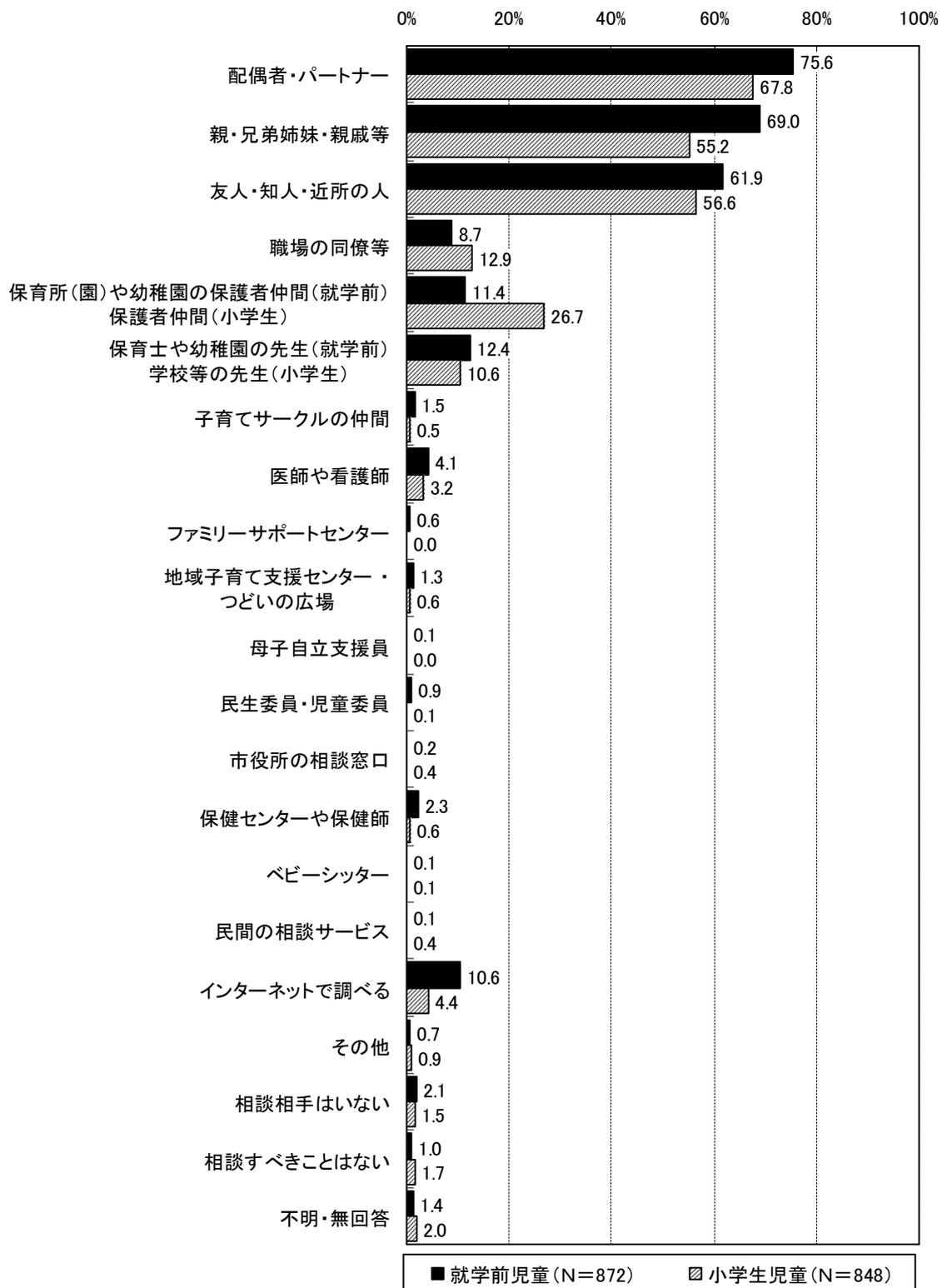
子育てに関する悩みや気になることについては、「子どもの教育に関すること」が就学前児童で40.6%、小学生児童で49.3%とそれぞれ最も高くなっています。

そのほか、就学前児童では、「病気や発育・発達に関すること」「子育てにかかる出費がかさむこと」「食事や栄養に関すること」の割合が高くなっています。また、小学生児童では、「子育てにかかる出費がかさむこと」「子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」の割合が高くなっています。



## ■ 子育てに関する相談相手（複数回答）

子育てに関する相談相手については、就学前児童、小学生児童ともに「配偶者・パートナー」「親・兄弟姉妹・親戚等」「友人・知人・近所の人」が上位3件を占めています。



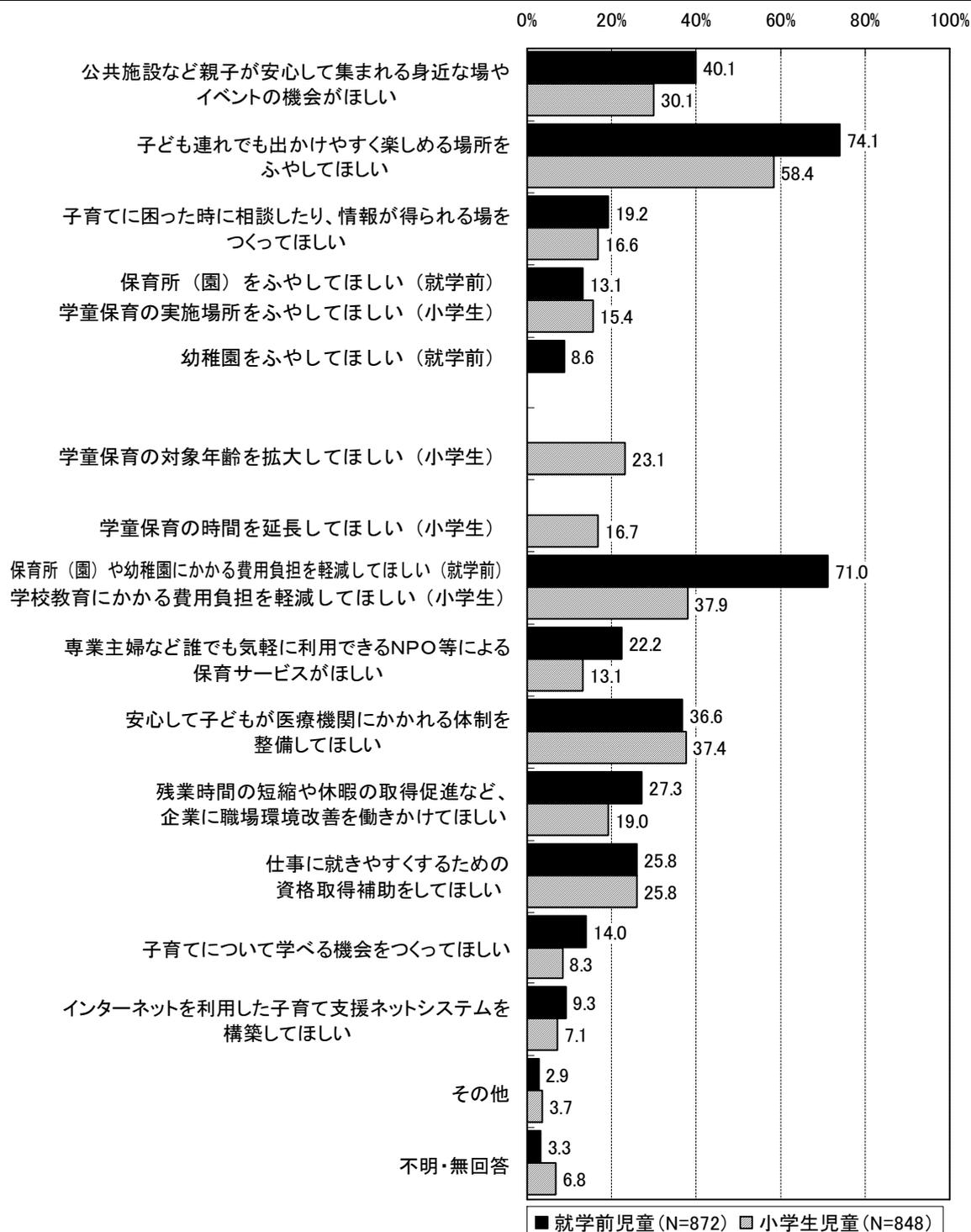
※「保育所(園)や幼稚園の保護者仲間」「保育士や幼稚園の先生」は、就学前児童のみの選択肢

※「保護者仲間」「学校等の先生」は、小学生児童のみの選択肢

## 8 施策全般について

### ■ 子育て支援として、特に充実してほしいと思うもの（複数回答）

就学前児童、小学生児童ともに「子ども連れでも出かけやすく楽しめる場所をふやしてほしい」「保育所（園）や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」「学校教育にかかる費用負担を軽減してほしい」が高くなっています。



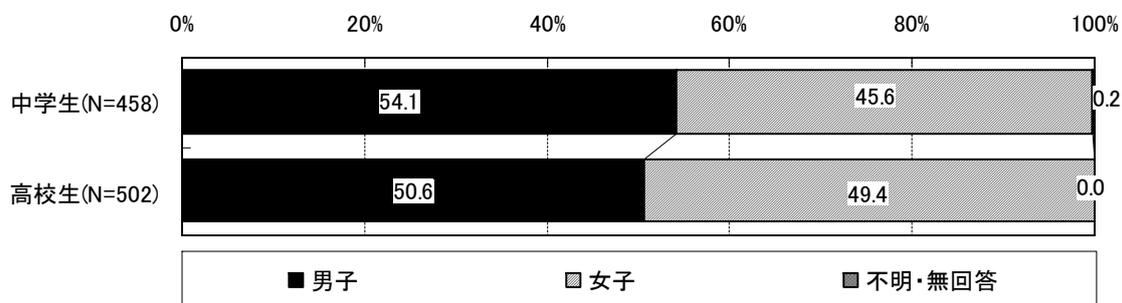
※「保育所（園）をふやしてほしい」「幼稚園をふやしてほしい」「保育所（園）や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」は、就学前児童のみの選択肢

※「学童保育の実施場所をふやしてほしい」「学童保育の対象年齢を拡大してほしい」「学童保育の時間を延長してほしい」「学校教育にかかる費用負担を軽減してほしい」は、小学生児童のみの選択肢

### Ⅲ 中高生対象調査

#### 1 あなた自身について

##### ■ 性別（単数回答）



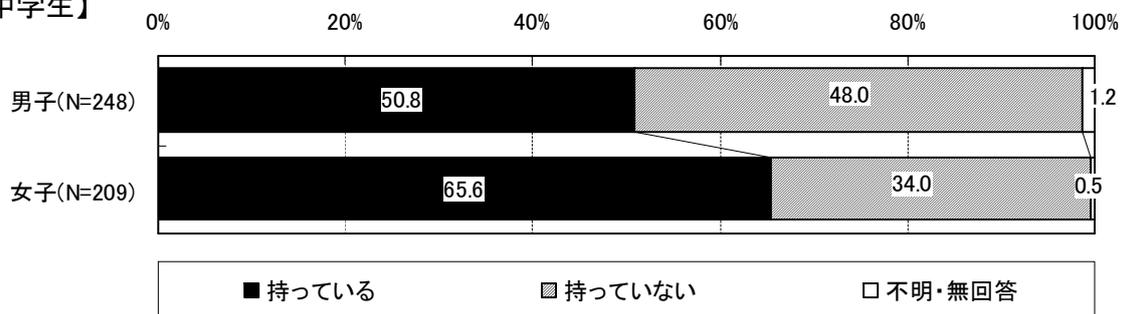
#### 2 携帯電話やパソコンの利用について

##### ■ 自分の携帯電話を持っていますか（単数回答）

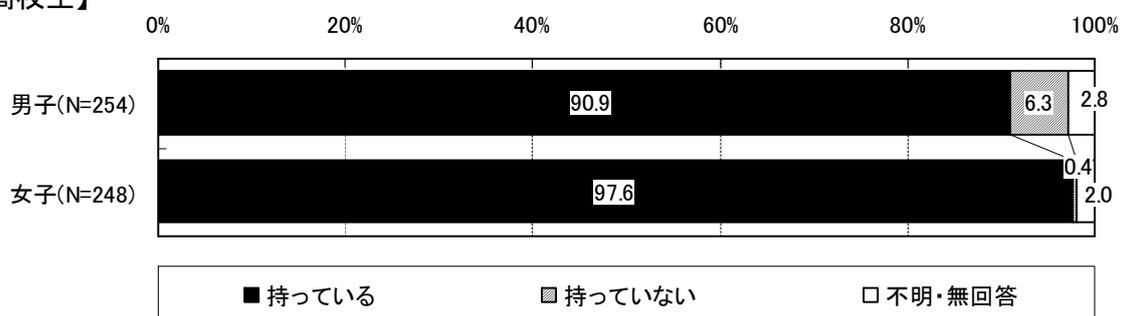
自分用の携帯電話の所持については、「持っている」が中学生で 57.6%、高校生で 94.2%となっています。

性別で見ると、中学生、高校生ともに『男子』より『女子』の方が「持っている」の割合が高くなっています。特に中学生では差が 14.8 ポイントとなっています。

##### 【中学生】



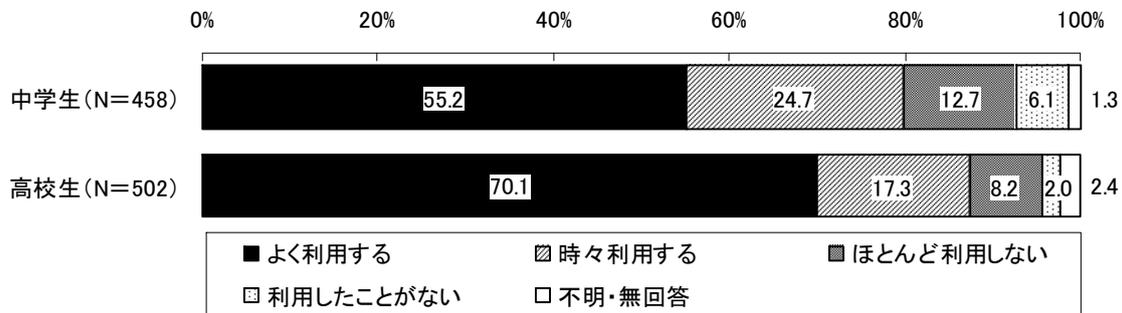
##### 【高校生】



### ■ 携帯電話やパソコンでインターネットを利用していますか（単数回答）

携帯電話やパソコンでのインターネットの利用については、中学生、高校生ともに「よく利用する」が最も高くなっています。

また、「ほとんど利用しない」、「利用したことがない」の割合では、高校生に比べると中学生の方が高くなっています。

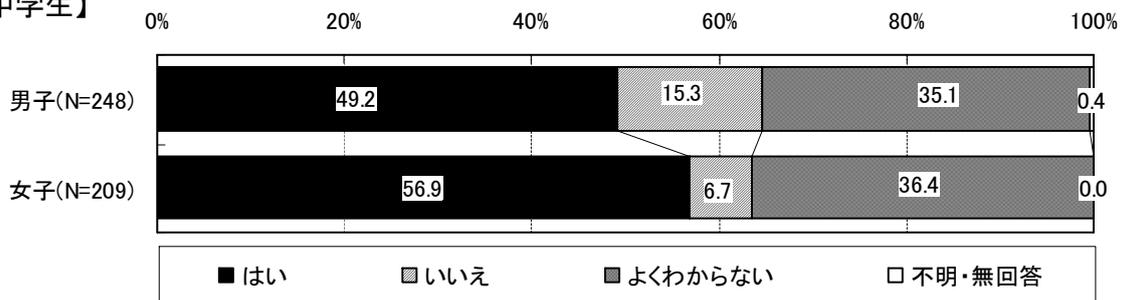


## 3 将来のことについて

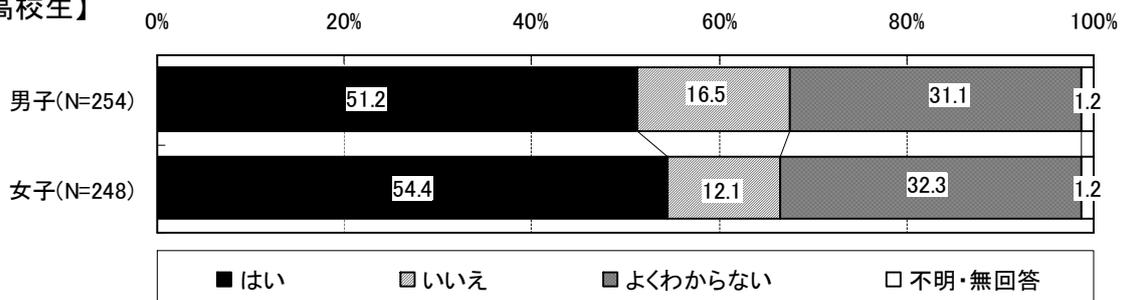
### ■ 将来の夢を持っていますか（単数回答）

将来の夢を持っているかについて性別で見ると、中学生、高校生ともに『男子』より『女子』の方が「はい」の割合が高くなっています。

#### 【中学生】

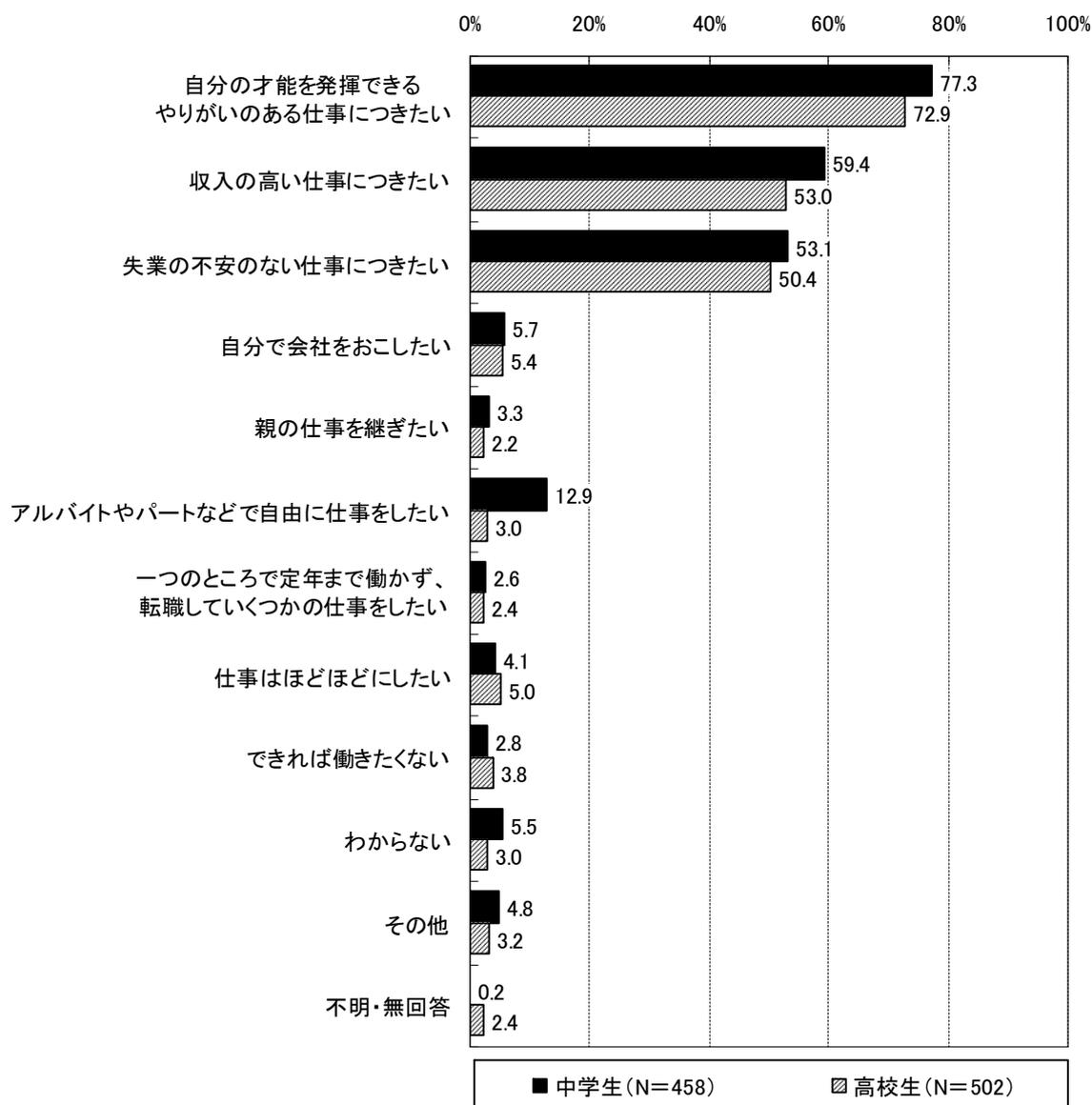


#### 【高校生】



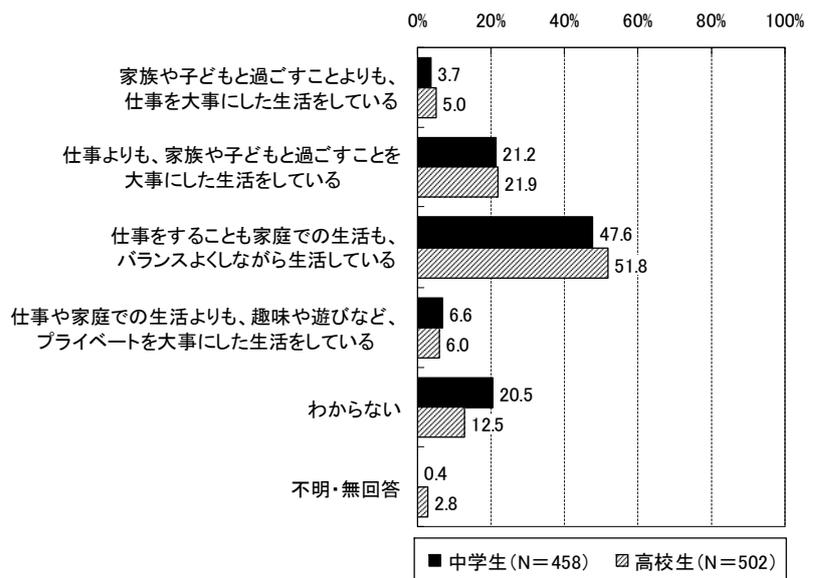
## ■ 仕事について将来どのような希望を持っていますか（複数回答）

仕事について将来どのような希望を持っているかについては、中学生、高校生ともに「自分の才能を発揮できるやりがいのある仕事につきたい」が7割を超えて最も高く、次いで「収入の高い仕事につきたい」「失業の不安のない仕事につきたい」が高くなっています。



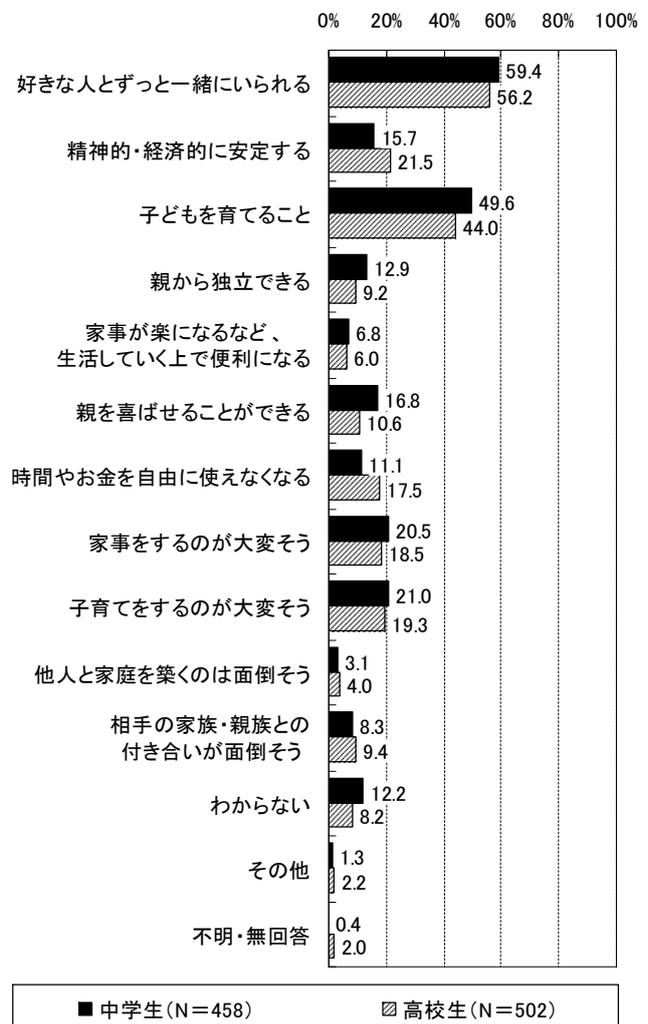
## ■ 将来のあなたの仕事や家庭での生活について（単数回答）

将来のあなたの仕事や家庭での生活については、中学生、高校生ともに「仕事をするとも家庭での生活も、バランスよくしながら生活している」が4割を超えて最も高く、次いで「仕事よりも、家庭や子どもと過ごすことを大事にした生活をしている」の割合が高くなっています。



## ■ 結婚についてどのようなイメージを持っていますか

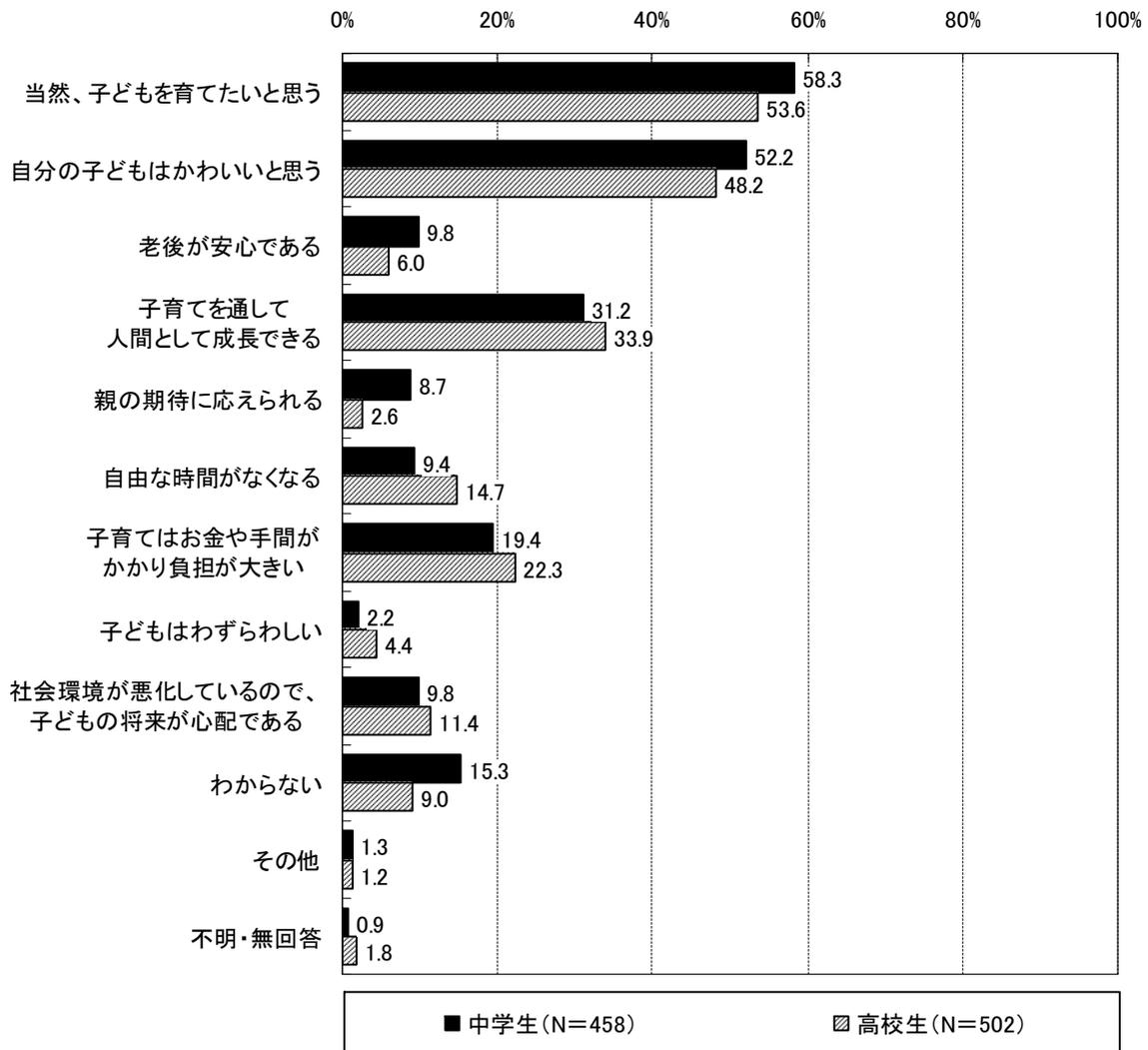
結婚についてのイメージについては、中学生、高校生ともに「好きな人とずっと一緒にいられる」が最も高く、次いで「子どもを育てること」が4割以上と割合が高くなっています。



## ■ 子どもを育てることによどのようなイメージを持っていますか（複数回答）

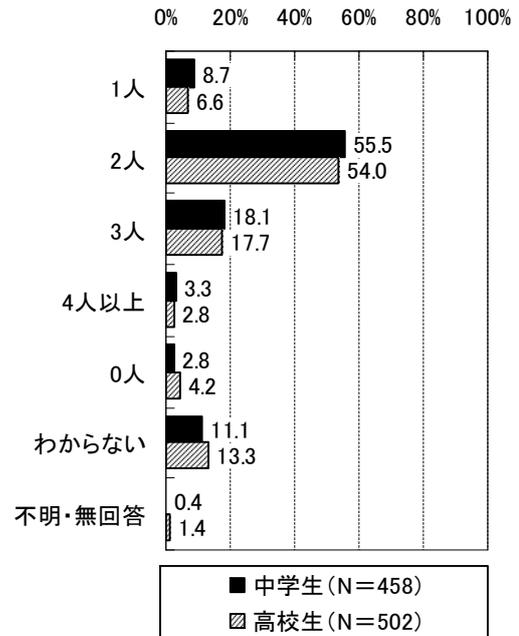
子どもを育てることについてのイメージについては、中学生では「当然、子どもを育てたいと思う」が58.3%と最も高く、次いで「自分の子どもはかわいいと思う」が52.2%となっています。

また高校生でも「当然、子どもを育てたいと思う」が53.6%と最も高く、次いで「自分の子どもはかわいいと思う」が48.2%となっています。



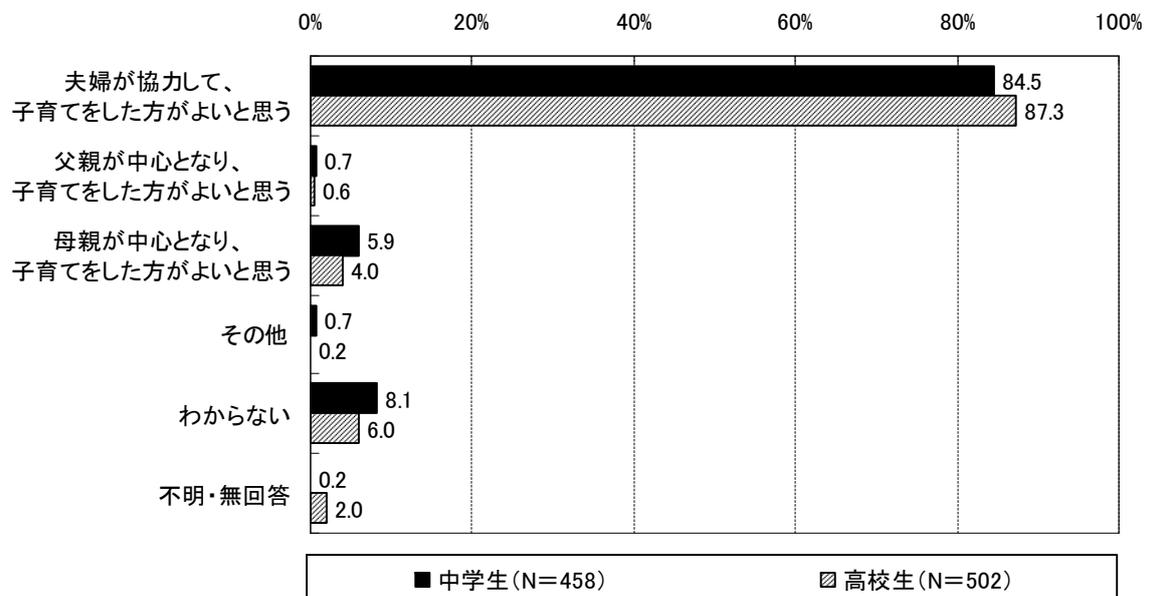
■ 将来、子どもを育てるとしたら何人がよいですか（単数回答）

将来、子どもを育てるとしたら何人がよいかについては、中学生、高校生ともに、「2人」が最も高くなっています。



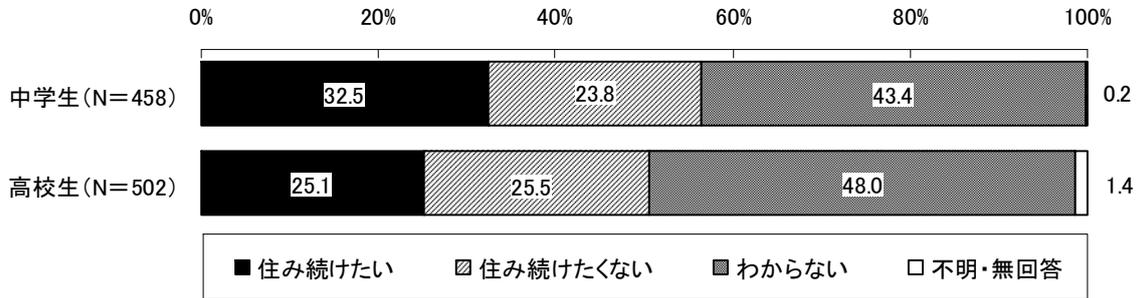
■ 家庭において、子育てをどのようにするとよいと思いますか（単数回答）

家庭において、子育てをどのようにするとよいと思うかについては、中学生、高校生ともに「夫婦が協力して子育てをした方がよいと思う」が群を抜いて最も高くなっています。



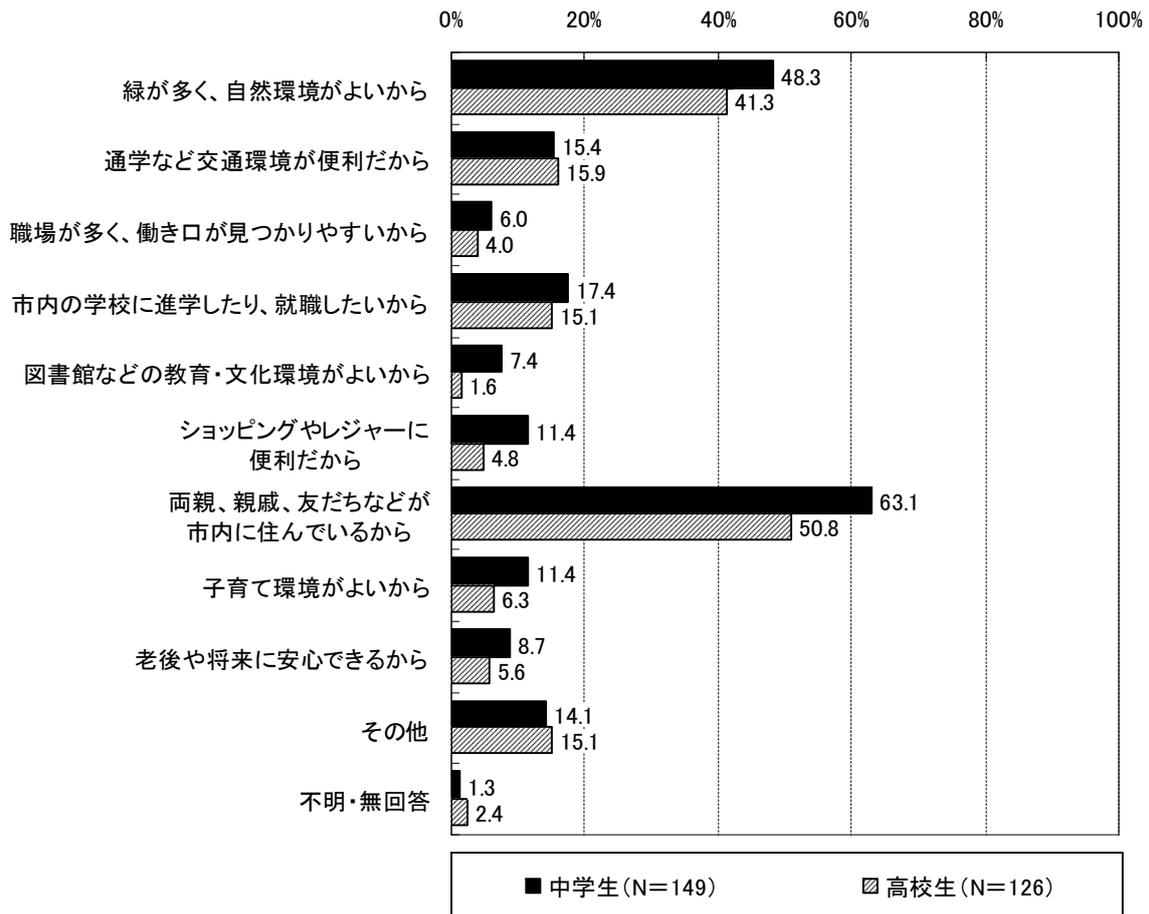
■ 大人になっても和歌山市に住み続けたいと思いますか（単数回答）

大人になっても和歌山市に住み続けたいかについては、「住み続けたい」が中学生で32.5%、高校生で25.1%となっています。



■ 住み続けたいと感じる理由は何ですか（複数回答）

住み続けたいと感じる理由については、中学生、高校生ともに「両親、親戚、友だちなどが市内に住んでいるから」が最も高くなっています。次いで、「緑が多く、自然環境がよいから」の割合が高くなっています。



和歌山市  
次世代育成支援に関するニーズ調査  
【結果報告書 概要版】

平成 21 年 3 月発行

編集・発行 和歌山市健康福祉局社会福祉部こども家庭課  
〒640-8511 和歌山市七番丁 23 番地  
電話 073-435-1219 FAX 073-435-1269